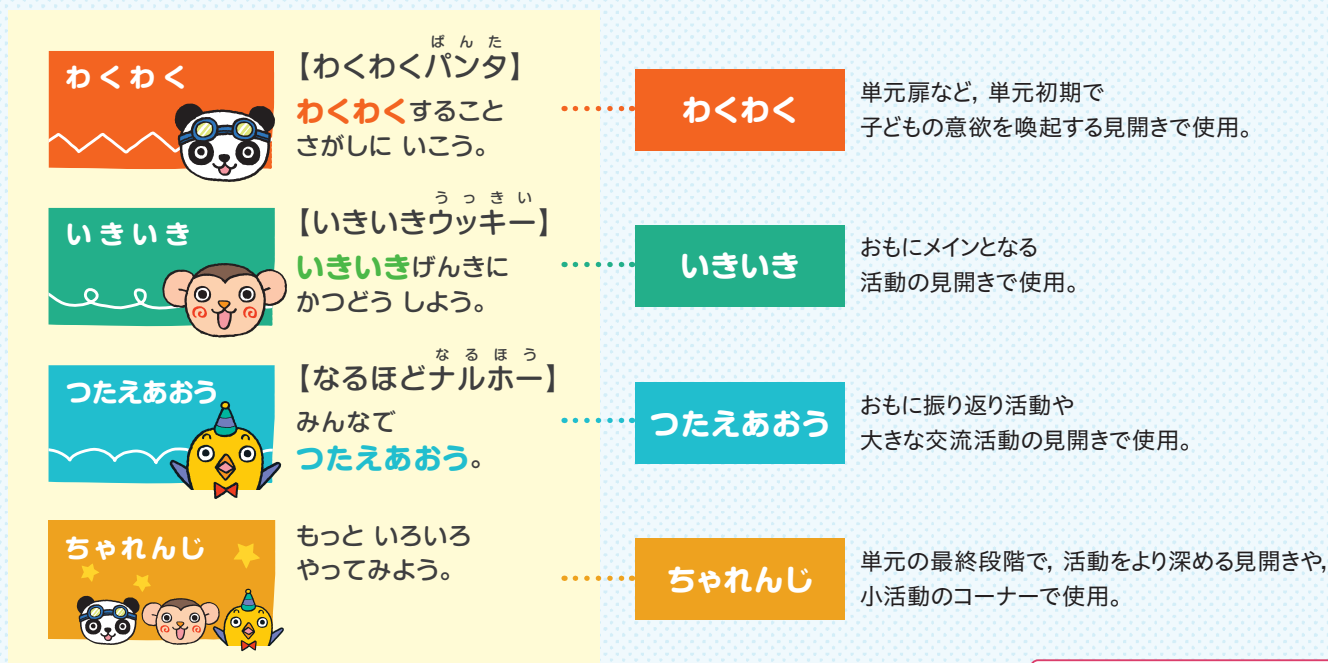


生活科における学力

活動の流れの明確化

子どもの思考が自然に流れるように紙面構成を工夫し、
4ステップで活動やストーリーを見て取りやすくなるように工夫しました。

各単元（活動のまとまり）を、「わくわく」（導入）、「いきいき」（主となる活動）、「つたえあおう」（振り返り交流する場）、「ちゃれんじ」（広がり・深まり）という4段階の展開とし、学習の深まりをわかりやすくするとともに、子どもにも理解できる表現にしました。



4段階のステップで
活動の深まりを演出します！





活動のスパイラル(次につなげるやり取り)

子どもの活動は、「やって終わり」ではありません。
活動の中で「もっとこうしたい」など子どもの思い・願いを次の活動につなげるように、
紙面右下で子ども同士のやり取りを適宜設定しています。



上巻 P.90

上巻 P.89



上巻 P.88 ~ 89



上巻 P.87



上巻 P.86 ~ 87



気付きの質を高める学習活動

子どもの気付きを重視し、それを質的に高めるための
学習活動を豊富に盛り込みました。

上巻 p.88 ~ 89



よく見て見つけた事

見つけた事を
自分なりにたえています

巻末資料（下巻 p.108-111）や別冊（p.4-5,18-21）などの資料ページでも、
子どもの学習活動のヒントになるものを多く掲載しています。



下巻 p.108 ~ 109



下巻 p.110 ~ 111



協働の姿勢, 成長の実感

子どもたちが、自分たちで企画立案や伝え合いをしながら活動を高める様子を紙面に表しました。

加えて、子ども自身が成長を実感できるように、紙面を工夫しています。



下巻 P.24 ~ 25



下巻 P.4 ~ 5



上巻 P.108 ~ 109



下巻 P.88 ~ 89

そだてたよ, せわたしたよ, あそんだよ

1年生のとき

2年生のとき

48

49

別冊 P.48 ~ 49

たんけんブック (p.48-49) では、1年生、2年生それぞれの学年末などで振り返りを書きこませることで、成長を実感させ、また、このたんけんブックが「自分の本」として愛着がもてるようにしました。